

県内経済の動き

概況

〔2024年8月～2024年10月の動き〕

緩やかに回復している

鉱工業生産指数（8月）は2カ月連続で前月比低下、通関輸出額（9月 細島港）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（9月 全店ベース）は2カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（10月）は2カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（9月）は3カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（10月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（9月）は前月比+0.01ポイントの1.32倍で、10月の企業倒産は前月比6件増の8件、負債総額は同3億59百万円増の4億30百万円となった。

秋の行楽シーズンが到来し個人消費を中心に県内経済は緩やかな回復を続ける。そのようななか、倒産の増加や人手不足の深刻化、物価上昇、利上げなど、景気の先行きには不透明感も漂う。